

多文化共生のススメ

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、松戸市ではさまざまな文化を認め合い、共生できる基盤作りが進んでいます。松戸で暮らす外国人や観光で訪れる外国人が、気持ちよく暮らせて、楽しく過ごせるように取り組む市民活動を紹介します。



ゴディエ・アンドレさん

グエン・チ・ディエムさん

李想さん

T.S.バルニーさん

司会
スコット・エリン

まつど国際文化大使 座談会

「住みやすい松戸を目指して」

松戸に暮らす外国人の皆さんに、日常の暮らしで感じていることを話していただきました。これからの多文化共生に必要なもののヒントが見えてきます。

日本人と外国人 交流する場をもっと

エリン オーストラリア出身のスコット・エリンです。松戸市の文化観光国際課の国際交流員です。皆さんと一緒に、松戸をどうやってもっと市内外にアピールできるか、松戸の良いところも悪いところも、まつど国際文化大使（※1）の皆さんと話したいと思います。まずは自己紹介をお願いします。

グエン ベトナム出身のグエンです。都内に11年住んでいて、昨年の5月に松戸に引っ越してきました。都内では子どもの保育園がなかなか決まらなかったのですが、松戸ではすぐに決まりました。そこが松戸のいいところですね。今は仕事に復帰して、都内の語学学校に勤めています。

バルニー パキスタン出身のT.S.バルニーです。日本に来てかれこれ30年、松戸に住みはじめてから13年になります。それまではいろいろな場所に住んでいましたが、松戸が一番気に入っています。松戸は東京への出口、千葉への入り口です。そこがとても素晴らしいところですね。

アンドレ カナダ出身のアンドレです。4年前に松戸にきました。松戸は東京に近く何でもできますし、仕事をするにもいい場所です。今は、麗澤大学

と聖徳大学で講師をしています。以前は東京の渋谷で働いていました。松戸から渋谷までは1時間以内で行けます。本当に便利な場所です。

李 中国から来た李想です。3年半前に日本に来て、新宿の日本語学校で学び、今は流通経済大学で勉強しています。将来は日本で就職したいと思っています。

歴史あるまち、 友達もほめてくれた

エリン 皆さんは、いつまつど国際文化大使になって、大使としてどのような活動をしていますか。

グエン 私は昨年の9月です。市民会館で行われた松戸市国際文化祭のチラシを配ったり、ベトナムに興味をもっている日本人と話したりしました。

2面に続く→

（※1）まつど国際文化大使＝市内で行われるイベントなどで、各国の文化・生活・習慣・芸術などを紹介している。 問（公財）松戸市国際交流協会 ☎366-7310、✉office@miea.or.jp

日本語ボランティア会

言語だけではなく文化を伝える



20年以上にわたって、延べ80カ国を超える外国人に生きた日本語を教えている「日本語ボランティア会」。年間で延べ800人超が同会の日本語教室に通っています。



ごみの分別を学びます

市販教材を使用して、学習者のレベルに合った「実生活で使える日本語」の会話の勉強をしています。この日のクラスは「ごみ問題」について

の勉強でした。布団やカーペットはいつ、どのように捨てるのか、ごみが増えるとどんな問題があるか、ごみを減らすためにどのような工夫が必要かなどを勉強し、自分の考えを伝えお互いに意見交換ができるようにしていました。

また、会話クラスの他に生活漢字クラスもあり、ボランティア会員が作成したテキストで、駅や病院等の実際の場面で使用されている漢字を見ることで、より具体的に学ぶことができます。

言語だけでなく文化を伝えたいという同会。「一時的な『交流』ではなく、学習を通して、生活をする上での『共生』のための支援をしていきたいです」と齋藤克人会長は言います。

教室には中国・フィリピンをはじめ、母国語の異なるさまざまな国の人が一緒に学んでいます。その中で不公平をなくすため、日本語で日本語を教えています。さらに日本と自身の国、というように限定せずに生徒同士の国のことも知ってほしいとの思いのもと、生徒の間の会話も日本語です。

教室に通っているフィリピン出身のアモールさんは「地震への心構えや、いろいろな国の文化も知ることができました。もっと勉強してやさしい日本語で小説を書きたいです」と目標を話してくれました。 問同会・齋藤 ☎saitohka@jcom.zaq.ne.jp

多文化共生のススメ

1面から続く

バルニー 松戸に来てからすぐに文化大使になりました。自分が日本で学んだこと、感じたもの、得たものを恩返ししたいと思い、日本人と外国人が交流できるイベントや企画に参加して司会をしたり、学校で自分の国の文化を紹介したりしています。一番印象に残っているのは、おとし日本語スピーチコンテストの司会をしたときのことです。参加者が日本に来て感じたことを話してくれたとき、「あ、自分にもこういう時があったんだな」と思いました。

アンドレ 4年前に国際文化大使になりました。松戸市国際交流協会のイベントでカナダを紹介するときに、「メープルシロップ・テイasting」をしました。カナダといえば何を知っていますかと聞くと、だいたい「メープルシロップ」と返ってきますね(笑)。

李 大学の先生の紹介で、昨年9月から国際文化大使になりました。各国の人々が集まって、いろんな活動ができると聞いて参加したいと思いました。活動は今まで3回くらい。松戸のまちめぐりツアーに参加して、松戸のいろんなところを見学しました。松戸は歴史があるまちですね。戸定が丘歴史公園に行ったとき、いろいろ写真を撮って自分のホームページに載せたら、中国の友達にも「きれいだね」とほめてもらえました。

地震が来たら どうしよう

エリン 皆さんの国と日本との文化の違いを教えてください。

グエン 私の場合は特にはないですね。すぐにお友達ができたので、すぐ慣れました。言葉も含めて友達に教わったので、大きな苦労はなかったです。

バルニー 言葉の壁というのは大変なことです。30年前の日本は、今と違ってそれほど外国人はいませんでした。パキスタンがどこにあるか、あまり知られていない時代です。日本では玄関で靴を脱ぎますが、パキスタンでは寝る前に脱ぐのです。以前、日本の友達の家で靴のまま上がろうとしたら、「ストップ!」とびっくりされました(笑)。それが日本とのギャップを初めて感じた瞬間ですね。

アンドレ 以前、鹿児島で1か月間ホームステイをしたとき、ホストファミリーは朝5時に起きてたくさんの朝食を食べていました。でも私は起きてすぐのそんなに早い時間に、しっかりした朝食は食べられませんでした。納豆とか刺身といった日本の朝食は好きなんですけれどもね。

李 私は言葉ですね。日本に来る前に中国で4か月間日本語を勉強しましたが、日本に来てからは「すみません」しかわからなくて(笑)。その時は、日本語学校の中国人の先生、日本に住んでいる親戚やおばあさんにいろいろ助けられました。それと、中国で私が住んでいたまちでは、地震や台風はありませんでした。台風も大変ですが、

地震の方が怖いです。初めて日本で地震を経験したとき、怖くて泣いちゃいました。今は慣れましたが、大きい地震があると、母国の両親はとても心配しますね。

エリン 地震が起きたら何をすればいいかわかりますか?

李 いえ、わかりません。立ったままじっとしているとします。

エリン 私もそうなんですよね。海外から来た人は、地震が起きてても何をすればいいかわからないんです。



NGUYEN THI DIEMさん
ベトナム出身。昨年5月から松戸市在住。
都内の語学学校勤務。



T.S. Burneyさん
パキスタン出身。13年前から松戸市在住。
タレントとして活躍中。



外国人向けの
動画サイトを公開
すればどうでしょう

外国人が
たくさんいるまちで
あることをアピール
してほしいです

相撲部屋、 外国人は興味

エリン 次に、松戸の良いところを教えてください。

グエン 交通が便利なところですね。それと、東京に近いけれど、田舎の雰囲気があるところですね。都会と違って近所付き合いも良いです。あと、伊勢丹やイトーヨーカドーなど、買い物をすると近くにいっぱいあって便利。私の家の近くにある和名ヶ谷スポーツセンターも良いところですね。

バルニー 21世紀の森と広場は、バーベキューが好きな外国人にとってすごくいいところですね。あと、松戸は東京にも埼玉にも近く、千葉市に行くにも便利な場所です。もう一つ、松戸には相撲部屋があります。大々的に相撲部屋を盛り上げてくれれば、相撲に興味のある外国人が松戸に足を運ぶはずですね。外国人同士は口コミで盛

国際交流カリフォルニアクラブ

地域の中で 多文化交流 外国人の夢を後押し

「声が後ろまで届くように、顔を上げて読んで!」。イベントに向けた練習の場に、岩尾いくよ代表の元気な声が響きます。「国際交流カリフォルニアクラブ」は、朗読会や芝居、紙芝居、歌、ダンス、料理などを通じて、松戸近辺に住む外国人と日本人の交流を支援しています。

メンバー手作りの紙芝居は、言語を増やして5か国語で披露できるようになりました。「浦島太郎」の紙芝居を作った米国出身

のラヴィタ・スター・フィッツジェラルドさんは、「最初は英語で読んでいましたが、少しずつ日本語でも読むようになりました」と日本語がうまくなっていると感じています。日本で声優になりたいというラヴィタさん。「ここではやさしく日本語のイントネーションを教えてください、すごく心強いです」とにっこり。

「日本文化を海外で広めることが夢でした」という同クラブ創立者の岩尾代表。米国に住んでいた時に、ずいぶん米国人にお世話になったそうです。「日本にいる外国人に、かつてお世話になったお返しをしたい」と考えています。「日本に住む外国人の夢をみんなで応援してあげたい」と、ラヴィタさんの声優への夢もクラブを挙げて後押ししています。



着物と民族衣装で祝うひなまつり

主な活動場所は、河原塚南山自治会館。平成10年の設立後、市民劇場で10年続けて公演を開いていました。「1回で終わるイベントではなく、もっと地域に入って、地域の皆さんと一緒に活動したいと考えようになりました」(岩尾代表)と、平成23年度からは地域の子どもたちや老人ホーム向けに公演を行っています。アットホームな雰囲気の中、日本人も外国人も関係なく、楽しく一緒に活動できる場となっています。

圓同クラブ・岩尾☎391-6545



岩尾代表 ラヴィタさん

り上がります。今はSNSを使って市外の外国人の友達にも、松戸の良さがだんだん広がっていくわけです。

アンドレ 私も同じですね、バルニーさんがすべて言っちゃいました(笑)。松戸はちょうどいいところですね。便利ですし。

李 私も、皆さんが言うとおりの、やっぱり便利なところが魅力ですね。私はまだ松戸に住み始めてからあまり時間がたっていないので、皆さんと一緒に活動に参加して、良いところをいっぱい発見したいです。



漢字ばかりだと わからない

エリン 良いところについて話をうかがいましたので、次は逆に、松戸に住んでからちょっと困ったことを聞きたいと思います。

アンドレ 松戸だけではなく、どの市でもそうなのですが、市役所から届く文書が必要なものなのか必要のないものなのか判断が難しいことです。せめて、「Important (重要)」か「Information (お知らせ)」かだけでも書いてあればいいのですが。締め切りに間に合わなかったこともありました。

グエン 市役所から届くものは、漢字がいっぱい困りますね…。

エリン 例えば、漢字の上にふりがなが書いてあったら読みやすいですね。できるだけやさしい日本語で書いてあ

れば、わかりやすいのではないのでしょうか。

アンドレ 漢字はあまりわからないのですが、ふりがながあればわかると思います。

家賃や土地、 都内より安い

エリン 松戸がもっと市内外の人にアピールした方がいいところを教えてください。

グエン 外国人がたくさんいるまちであることをアピールしてほしいですね。家賃や土地の値段が、全体的に都内より安いこともアピール材料になりますね。

バルニー 松戸市はFMラジオ(※2)をやっていますよね。最近は、動画も大事です。例えば、病気になったときや市役所の手続きの方法を、外国人向けにYouTubeなどの動画サイトで公開する。その他、いろいろなバージョンの動画を作って、困ったときには動画サイトを見てもらえばいいということにすればどうでしょう。

アンドレ 外国人を対象とした、異なる言語の記事を出したらいいと思います。たくさんの人にも伝わるし、仲間内でもそのことについてまた話ができるようになります。情報を知らずにいると、「お祭りは昨日だった。ああ、また逃してしまった」ということがあります。

エリン 外国人向けの情報発信ですね。松戸市のホームページには「Matsudo City International Portal (4面参照)」のコーナーがあります。全て英語と日本語の両方で書かれているのでわかりやすいと思います。

李 流通経済大学が松戸にあるおかげで、松戸のことを知りました。私の友達もあまり松戸を知らなかったのですが、学校に近いところに住むために松戸市に引っ越ししてきました。松戸には4つも大学があるそうですね。大学があることはアピールポイントになります。

エリン 最後に、国際文化大使としてこれからやってみたいことはありますか。

グエン 自分の住んでいる地域で日本人にベトナム語を教えたり、ベトナム人をたくさん呼んできて、日本人とベトナム人が交流できる場所を作ったりしたいと思います。

バルニー 松戸市国際交流協会主催のパーティーを1年に1回だけではなく、季節ごとに開いて、もっと交流を深めたいです。

アンドレ 松戸市の高校生・中学生たちに、東京にあるカナダ大使館を案内したいですね。このような若者向けの活動をもっと増やしたいです。

李 各国の皆さんが集まって、日本の文化や各国の文化を勉強することができてよかったです。これからいろんなイベントに参加して、いろんな人に会いたいです。

(※2) FMラジオ=松戸市の魅力を発信する番組「MATSUDO HAPPY☆topics」のこと。bayfm78 (バイエフエム) で毎週木曜日15時53分から約4分間放送中。

圏広報聴課シティプロモーション担当室 ☎366-7320



ゴティエール アンドレ
Gauthier Andreさん
カナダ出身。4年前から松戸市在住。
現在は聖徳大学講師。



理想さん
中国出身。3年前から松戸市在住。
流通経済大学在学中。



スコット・エリン
オーストラリア出身。松戸市国際交流員。

認定NPO外国人の子どものための勉強会

自分の“居場所” で学力伸ばす 強制ではなく共生へ

外国人の子どもの中には、日本語で会話はできても日本の学校になじめない子や、学習内容についていけない子がいます。「認定NPO外国人の子どものための勉強会」は、そんな子どもたちに勉強を教え、楽しい学校生活を送れるよう支援しています。



熱心に教える海老名理事長

20年前から活動を始め、これまでに小・中学生を中心に約1,000人が同会を巣立ってい

きました。「中学を卒業するまで、ほとんどがやめずに通ってきます」と海老名みさ子理事長。学力アップはもちろん、言葉を気にせず仲間と話すことができる“自分を出せる場所”であることが、子どもたちのオアシスとなっている理由の一つです。

子どもによって、学習レベルに差があります。このため、会ではできるだけ同じスタッフが子どもの個性に合わせて指導する仕組みにしています。毎回同じ先生と接することで、自然と悩みも打ち明けやすくなります。

高校受験を目指す中国出身の江梓斌さん(中学3年生)は、「わからないところは、先生がきちんと説明してくれます。勉強がわかってくるとすごく自

信になります」と、作文の書き方などのアドバイスを受け、着実に力をつけているところです。

勉強を教えるベースには、「共生」の考えがあります。海老名理事長は「今の時代、学校のクラスに外国人の子がいるのは当たり前です。外国人が日本に合わせることを強制するのではなく、日本人も外国人も、互いの異なる価値観を尊重することが大事だと思っています」と、活動を通じて国籍の異なる人同士が仲良くなっていくことを願っています。

圏同会・海老名 ☎345-2051



ボランティアの皆さんの経験が生きています

多文化
共生の
ススメ

松戸好き
になって!

おもてなしの心

専修大学
松戸高校
GSL



目指せ! グローバルリーダー 交流通じて積極性養う

専修大学松戸高校の生徒有志が、ボランティア活動を通じて同世代の外国人との交流を深めています。同校の生徒約50人が登録しているGSL (Global Student Leaders) は、海外からの留学生や来日客の世話係をはじめ、主体的に多文化とのかかわりを持つことで、生徒自身が“グローバルリーダー”になることを目的の一つに据えています。

指導に当たる松垣優美同校国際教育部長は「役に立ちたい」という姿勢で積極的に参加してくれる子が一人でも増えてくれれば」と、活動の意義を強調します。

平成28年には、認定NPO外国人の子どものための勉強会（3面参照）とともに、GSLのメンバーが同世代の外国人に勉強を教える取り組みを始めました。GSLの野崎郁稀さん（1年生）は「最初はとまどいでしたが、すぐに仲良くなりました。ここに通っている中学生は勉強もよくできます」と刺激を受けたようです。さらに「2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、都心のスタジアムを訪れる外国人を積極的に案内したいです」とやる気満々です。交流を通じて、日本の子どもたちの視野も広がっているようです。

まつど
シティ
ガイド



2020年に向け英語で案内 戸定邸の魅力を伝える

ボランティアガイド団体の松戸シティガイドが、戸定邸で外国人向けに英語で案内する取り組みをしています。

きっかけは東京オリンピック・パラリンピック。「2020年までに、外国人に戸定邸の魅力を伝えることができるようになりたい」というメンバーの声によって、海外への留学経験のある宮部孝子さんが中心となり、英語ガイドの研修が始まりました。

1年3カ月にわたる研修を13人が修了し、一昨年行われた「駐日外交団地方視察ツアー」では、ジェスチャーや単語を交えながら参加者の疑問に答えました。

「2020年に向けて、英語でガイドできる人が増えて、自信を持ってガイドできるようにしたいです」と宮部さん。松戸シティガイドのおもてなしの取り組みは、東京オリンピック・パラリンピックに向けて続いています。

英語で戸定邸のガイドを希望する人は、戸定歴史館 ☎361-0056 に「英語ガイド希望」とお伝えください。

「松戸市インターナショナル・ポータル」をご覧ください!

Visit Matsudo City's international webpage!



INTERNATIONAL PORTAL

市ホームページ内の「松戸市インターナショナル・ポータル」は、バイリンガルのウェブページで、英語と日本語の両方で市民と観光客向けの幅広い情報を提供しています。松戸市と世界のつながりを是非一度ご覧ください。
圏文化観光国際課 ☎366-7327

The 'Matsudo City International Portal' is a bilingual webpage within the City's official website, providing extensive information in English and Japanese for both residents and visitors. Scroll down and follow the links to see how the city is exploring ways of having a conversation with the wider world.



Matsudo City International Portal

広告

広告スペース